

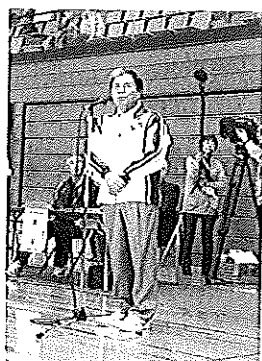
熊本支部(熊本県フロアホッケー連盟)

○ 会議関係

月 日	内 容
4月 2日	会計監査
5月12日	熊本県フロアホッケー連盟通常理事会
5月26日	競技部会(実行委員会前)ミーティング
6月10日	実行委員会立上
7月 3日	理事会
9月20日	実行委員会ミーティング
10月20日	実行委員会ミーティング

○ 指導者講習会・レフェリー派遣

月 日	内 容
6月27日	小国・菊池支援学校先生・生徒体験会 場所：ひのくに支援学校 レフェリー 3人 参加者(講習・体験会・練習会) 40人
9月 2日	小国カップ 場所：小国ドーム レフェリー 4人 参加者 85人
9月20日	第1回レフェリー講習会及び練習会 場所：熊本県立大学サブアリーナ 参加人数 27人
10月 1日 ～ 8日	熊本学園ライフウェルネス学科 新スポーツ紹介 場所：熊本学園大学 レフェリー 2人 参加者(先生・学生) 51人
10月10日	第10回エフピコ杯全日本フロアホッケー競技大会 場所：葛飾区総合スポーツセンター レフェリー 3人
10月25日	第2回レフェリー講習会及び練習会 場所：熊本県立大学サブアリーナ 参加者 25人
11月 5日	第5回ユニバーサルフロアホッケー九州大会 場所：熊本市総合体育館 競技役員・レフェリー・ボランティア 62人 参加チーム 15チーム 参加者 220人
1月18日 ～ 2月10日	熊本県立松橋西支援学校高等部上益城分教室フロアホッケー体育授業 場所：甲佐高等学校体育館 インストラクター 2人 参加者 35人
2月21日	小国・菊池支援学校対抗戦 場所：再春荘病院内体育館 レフェリー 4人
2月27日	中国四国大会 場所：ローズアリーナ レフェリー 5人
3月 6日	フロアホッケーワンデイスクール 場所：九州ルーテル学院 参加者(コーチ・アスリート) 28人



フロアホッケーに取り組んでいる皆様からの感想

障がいスポーツではなく『生涯スポーツ』として

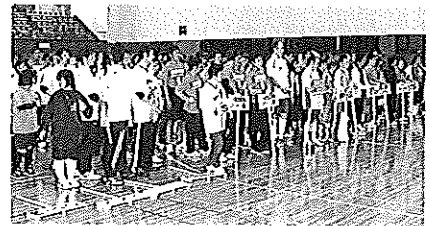
熊本県立小国支援学校 山内 雄一朗

支援学校の生徒たちに「もっと活躍の場を!」で始まった「フロアホッケー部」が今年、創部6年目を迎えます。

始めた当初「一緒に汗を流す」だけで満足しておりましたが、生徒たちの「やる気」に後押しされ、選手・コーチ共々「次のステージ」へ向けて様々なことにチャレンジしております。

〈活動履歴〉

1. 「体育の授業」・「学校行事」・「小中学校、高等学校との交流」
2. 「地域体験会の開催」(平成22年～)
3. 「九州大会出場」(平成23年～、平成27年度ディビジョンA優勝)
4. 「小国カップ」(地域交流大会 平成23年～)
5. 「SO韓国チームとの親善試合」(平成23年12月22日)
6. 「全国大会出場」(平成24年 山形大会)
7. 「SO小国ランチ」を開設(平成25年～)

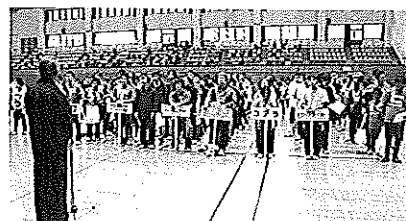
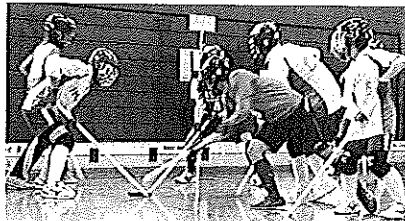


社会福祉協議会のご協力により学校生活を超え生涯スポーツとしてフロアホッケーに取り組む在校生・卒業生・他校種の児童生徒、施設利用者、指導員・保護者の方々のための環境を作りました。

8. 「レフェリーミーティング」
指導者のルール解釈とレフェリー技術の向上を目的に、SO小国の活動に合わせて開催。
9. 「県内教職員向けの講習会」
10. 「特別支援学校・学級の生徒を対象とした体験会」
11. 「支援学校同士の対抗戦」県内初(平成28年2月20日)
12. 「第1回コーチスキルアップクリニック」(平成28年3月5日・6日)
指導者の技術力・指導力の向上を目指し、SOフロアホッケーアカデミー講師の星野淳氏招聘。

スポーツを通した「インクルージョン社会の実現」に向け、フロアホッケーが「一緒に取り組む」から、「お互いに高め合う『生涯スポーツ』」として益々、普及・発展していくことに、熊本阿蘇の山奥から、微力ではございますが、お手伝いできればと思っております。

みなさま、これからもどうぞよろしくお願いいたします!



「熱く第5回中国四国大会開催！」

株式会社エフピコ 下宮 敏仁

エフピコのフロアホッケーチームも9拠点18チームと拡大し、全国で約700名の仲間が楽しみながら、活動しております。

平成28年2月27日(土)、5回目となる中国四国大会が昨年に続き福山市で開催され、西日本を中心に14チーム200名を超える選手が参加して熱戦が繰り広げられました。大会テーマは、福山市の花(バラ)、開催体育館(ローズアリーナ)にちなみ、昨年と同じ「ローズマインド ～思いやり・優しさ・助け合い～」。選手やボランティア、運営スタッフなど、大会に関わる全ての人が一丸となり、大会を成功裡に終了させることができました。特に、大会運営に欠かせないボランティアについては、今大会ではエフピコ社員だけでなく地域の高校生や大学生にも広く参加いただきました。フロアホッケーを見て・知って・体験していただくことにより、地域に根づくイベントとなるよう、今後も働きかけをしていきます。第6回大会の開催も福山市が予定されており、皆さまに楽しんでいただける大会を目指して参ります。

エフピコでは、全国の各拠点にて、地域の学校や企業と交流会や合同練習会を行うなど、少しずつですが、会社の枠を超えた取り組みも行っております。フロアホッケー活動を行っていく上で、ルールの周知やユニバーサルスポーツの意義などをお伝えしてフロアホッケーの輪を広げていきたいと考えております。

